

『人・ふれ愛・ボランティアの輪を広げよう』

令和につなぐボランティア

ふれ愛広場 2019

日時：令和元年 10 月 20 日 9 時 30 分～3 時 30 分

場所：龍ヶ崎市文化会館／中央図書館／歴史民俗資料館

公共イメージ委員会
奉仕プロジェクト委員会

【概要】 私たち龍ヶ崎中央ロータリークラブは、龍ヶ崎市ボランティア連絡協議会のメンバーとして例年、「ふれ愛広場」に参加し、地域とのつながりに努め、活動を通して公共イメージの向上を模索してきました。今回の「ふれ愛広場 2019」はロータリー・デーと位置づけ、100 円ショップに加えてポリオ撲滅運動へのロータリーの関わり方を広報するパンフの配布も行いました。

前日は雨模様の中で準備を行い、明日の開催日に備えました。当日は天気も応援し、曇模様ながら 9 時 30 分には開会セレモニーが行われ、10 時には各コーナーのオープンになりました。写真を見てください。会場にはいっぱいの方が集い、標語の『人・ふれ愛・ボランティアの輪を広げよう』が実を結びました。この活動は平成から令和につなぐ最初となります。

100 円ショップの周りには、中央ロータリーの「のぼり」が立てられ、地域密着型の活動を展開しました。“旗が少し多かったかな～”とは幹事の弁。海老原会長を筆頭に全ての会員が参加してくれました。隣では赤い羽根の募金活動をジュニアボランティアの子供たちが頑張ってくれました。このブースの担当も中央 RC でしたが、社協の青木さんに面倒を見てもらいました。感謝です。

会場の風景等を写真で紹介しましょう。

【写真をどうぞ】



ふれ愛広場中央 RC ブース入り口



100円ショップメンバー



ジュニアボランティア募金活動



開会セレモニー市長挨拶



会場正面風景



ブース横での幹事懇親

◆「文化と福祉を融合させた市民参加型の手作りによる福祉祭りの開催を通し、障がいのある人もない人もすべて平等の立場で参加できる『ふれ愛広場』にする」という開催目的が掲げられました。公共イメージの向上はロータリーの大きなテーマになっています。ロータリー活動も共同の目的の下、衣替えが進んできた気がしますが、皆さんは如何ですか。会員増強につながる公共イメージの向上活動を！

以上＜文責：山口＞